

町では、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」の取り組みを進めています。町や地域が行うこの取り組みについて、毎月お伝えしていきます。

【歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



芋煮とかまどで炊いたご飯を食べ収穫を祝う “あつかし歴史祭”を開催

「収穫祭」をテーマにした「あつかし歴史祭～あつかし芋煮会～」が11月23日、あつかし歴史館で開催され、約250人が参加しました。

歴史館の前には大鍋が用意され、参加者は国見産の秋野菜がたっぷり入ったあたたかい芋煮と「国見石のかまど」で炊いたホカホカの光明寺産新米コシヒカリのご飯を食べて収穫を祝いました。

館内では、町文化財「貝田姥神沢旧鉄道レンガ橋」の指定5周年を記念した鉄道模型の展示、町郷土史研究会による「阿津賀志山三十三観音八十八大師画像碑群」特設展のほか、どんぐり工作ワークショップや石蔵ハンカチづくりが行われました。

また、歴史的な資源が豊富な大木戸の文化財を周遊するバスツアーが行われ、参加者からは「貴重な歴史遺産を知ることができてよかった」などの声が聞かれました。



▲子どもに大人気の鉄道模型



▲ツアーでは大木戸の遺産をガイド



▲どんぐりワークショップの作品



▲家族3世代で楽しく工作体験



▲国見石のかまどで炊飯

今回のイベントは、町と「大木戸歴史村づくりの会」の共同開催で行なわれました。同会は大木戸地区5町内会の各団体により構成され、地区の活性化を目指した活動に取り組み、かつての大木戸小学校であるあつかし歴史館を活用したイベント運営の中心的役割を担っています。

会場には多くの家族連れが来場し、地域のみなさんと子どもたちが「歴史祭」を楽しむ笑顔であふれていました。

群馬県かみつけの里に 塚野目古墳群の遺物が出展！

県内有数の古墳群である塚野目古墳群と反畑遺跡から出土した5世紀の石製模造品約70点が、群馬県高崎市かみつけの里博物館にて特別展示されています。

国見町から出土した資料は、群馬と東北の交流や被葬者の権力を表す貴重な資料として紹介され、来年1月28日まで展示されます。



▲展示される石製模造品

明治から伝わる伝統の舞と歴史遺産を巡る 神楽の里「内谷」歴史めぐり

町郷土史研究会（中村洋平会長）による小坂方部研修会「神楽の里『内谷』歴史めぐり」が開催され、約40人が内谷の魅力を堪能しました。

参加者は、内谷太々神楽保存会のみなさんによる舞を楽しんだほか、中世内谷氏の居館と推定される内谷館跡、薬師堂（P.2参照）、石蔵などを巡り、内谷に深く触れる一日となりました。



▲解説を聞きながら神楽鑑賞



▲薬師堂の薬師如来像を特別開帳

国見町青少年育成町民会議奨励金交付 がんばるみなさんを応援

上位大会を目指して
がんばります！



国見町青少年育成町民会議（太田久雄会長）は11月2日と11月13日、全国大会や県大会に出場するみなさんに奨励金を交付しました。

【第31回全国都道府県対抗中学バレーボール大会出場】工藤彰悟（中3）

【第39回福島県中学校バレーボール新人選手権大会出場】男子団体・佐藤翼（中2）他

【第37回福島県中学校新人ソフトテニス大会出場】女子団体・菊地里奈（中2）他、女子個人・菊地里奈（中2）、菊地莉世（中2）、佐藤菜子（中1）、渡辺乙葉（中1）

【第43回福島県中学校体重量別柔道選手権大会出場】男子個人・野村俊介（中2）、佐藤光（中3）

【第46回福島県中学校新人卓球大会出場】男子団体・多田拓人（中2）他

「税に関する作品コンクール」表彰式 納税への理解を深める

平成29年度国見町小中学生「税に関する作品コンクール」の表彰式が11月15日、観月台文化センターで行われました。

表彰式には、応募総数450点の中から選ばれた16作品（書の部8点、標語の部8点）の受賞者が出席し、小野寺哲良福島地区税務協議会長、小川武福島県東北地方振興局長、太田久雄国見町長、岡崎忠昭国見町教育長から表彰状が贈られました。

太田町長が「受賞おめでとうございます。今後は税の良き理解者として、税に対する関心を深め、普及してください」と式辞を述べ、受賞者を代表して菊地莉世さん（県北中2年）が、「これからもっと税のことを勉強して詳しくなりたいです」とお礼のことはを述べました。

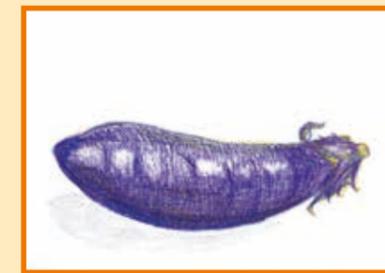


受賞されたみなさん（※受賞者名簿は11月号に掲載）

県北中学校



源田 彩心



仲野 美悠



鴨田 梨奈

小さな天才たち